

# SHINYBOW™

## SB-6802R

### 取扱説明書

IP 伝送 中継機能付き HDMI 受信器



V1.1

# 安全のために必ずお読みください

本書をお読みいただき正しい方法でご使用ください。誤った使用方法による危険を表すものとして下記の表示を使用しています。

 <b>警告</b> 誤った取り扱いをした場合に死亡や重傷などの重大な結果を伴う可能性があることを表します。	 <b>注意</b> 誤った取り扱いをした場合に軽傷を負うか、物的な損害が生じる可能性があることを表します。
--	--

## 記号の説明

	注意を促すことを表します。
	してはいけないこと（禁止）を表します。



万一異常が発生した場合は直ちに使用を止め、AC アダプター、または電源プラグを抜いて機器を安全な場所へ移動してください。異常があるまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

	斜面や不安定な場所に置かないでください。また壁面などに設置する場合は確実に固定してください。落下などにより怪我の原因となります。
	異常な発熱がある場合や、煙を発した場合、また不自然な臭いを感じた場合は、直ちに AC アダプター、または電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。
	壊れた機器や異常のある機器を本機に接続しないでください。本機の故障の原因になるだけではなく、火災や感電の原因となる場合があります。
	水に濡れた場合、内部に異物が入った場合は AC アダプター、または電源プラグをコンセントから抜いてください。
	AC アダプターのケーブルに重いものを乗せたり、折り曲げたまま力を加えたり、強く引っ張ったりしないでください。ケーブルの断線が生じ、火災や感電の原因となります。
	裏蓋を外して本機を分解する、独自の修理を行う、または改造するなどしないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
	屋外や浴室など水がかかるおそれがある場所では使用しないでください。

 注意

注意事項をよくお読みください。誤った設置方法や取り扱いによって機器に故障が生じ、火災、感電の原因となる場合があります。

	本機は屋内での使用を前提としております。屋外では使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
	ご使用の際は直射日光が当たる場所を避け、暖房器具などの熱を発するもの、火気のそばには置かないでください。
	使用中に本機に布を被せて通気を妨げないでください。またテープを巻きつけるなどしないでください。通気を妨げると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	本機は車載用に設計されたものではありません。継続的な振動を受け続けると故障の原因となる場合があります。
	本機を密閉された狭い場所には設置しないでください。また通気のある場所に設置してください。密閉された通気のない場所で使用すると本体の温度が上がり故障の原因となります。
	高温、湿度の高い場所、温度変化の大きい場所、または湯気、油煙にさらされる場所には設置しないでください。故障の原因となります。また結露したまま使用しないでください。
	コンセントを抜く場合は AC アダプター、または電源プラグをしっかりと持つて抜いてください。ケーブル部を引っ張って抜かないでください。
	AC アダプター、または電源プラグはコンセントにしっかりと奥まで接続してください。
	AC アダプター、または電源プラグが抜けかけた状態で使用しないでください。コンセントから抜けかった状態で使用すると火災、感電の原因となる場合があります。

## 目次

<b>1 同梱品</b>	6
<b>2 製品画像</b>	7
<b>2-1 フロントパネル</b>	7
<b>2-2 リアパネル</b>	7
<b>3 簡単な使い方</b>	8
<b>3-1 接続手順</b>	8
<b>3-2 接続例</b>	9
<b>3-3 チャンネルの設定</b>	9
<b>3-4 チャンネルの設定手順</b>	9
<b>4 リモコン</b>	10
<b>5 高度な使い方・専用アプリケーションによる設定</b>	11
<b>5-1 設定用パソコンの準備</b>	11
<b>5-2 送信器、受信器の検索</b>	11
<b>5-3 送信器の設定</b>	12
<b>5-4 受信器の設定</b>	16
<b>6 高度な使い方・ブラウザーによる設定</b>	20
<b>6-1 送信器の設定</b>	20

6 - 2 送信器の設定項目 .....	21
6 - 3 受信器の設定 .....	23
6 - 4 受信器の設定項目 .....	23
7 シリアル機器の接続 .....	24
7 - 1 送信器の RS232 ピンアサイン .....	24
7 - 2 受信器の RS232 ピンアサイン .....	24
7 - 3 RS232 通信の設定 .....	25
8 製品仕様 .....	26

## 1 同梱品

・ SB-6802R 本体	1 台
・ 電源コード	1 本
・ ネジ式ロック機構 AC アダプター (DC12V, 3A)	1 個
・ リモコン	1 個
・ RS-232 F/W アップデートケーブル	1 本
・ マウントキット	1 セット
・ リモコン受信用ケーブル (長さ : 2m)	1 本
・ リモコン受信用キット (付属リモコン用)	1 組
・ リモコン受信用キット (ソース機器制御用)	1 組
・ RS232 I/O コネクター	1 個
・ 取扱説明書 兼 アフターサービス規定書 (本書)	1 部

※リモコン用の電池は付属しません。リモコンを使用する際は、市販の電池（単4形2個）を別途ご用意ください。

※同梱の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

※リモコン受信用キットは市販のオーディオケーブルを使用することでリモコンの受信部を延長して使用することができます。

## 2 製品画像

### 2-1 フロントパネル



- ① Power LED : 電源が入ると青く点灯します。
- ② Channel LED : チャンネル設定モードが選択されている場合に点灯します。
- ③ RS232 LED : RS232 通信のボーレート設定モードが選択されている場合に点灯します。
- ④ Reset ボタン : 工場出荷時の設定にリセットします。
- ⑤ Select ボタン : チャンネル設定モードとボーレート設定モードを切り替えます。
- ⑥ IP Channel LCD: 現在のチャンネル、または設定時に選択中のチャンネル、ボーレートを表示します。
- ⑦ UP ボタン : チャンネル、ボーレートの値を変更する際に使用します。
- ⑧ Down ボタン : チャンネル、ボーレートの値を変更する際に使用します。
- ⑨ Lock ボタン : 3 秒間押し続けることでボタン操作をロックすることができます。ロック中は LCD に Lxx (xx はチャンネル) と表示されます。ロック中に 3 秒間押し続けるとロックを解除します。
- ⑩ Enter ボタン : チャンネル、ボーレートの設定を決定する際に使用します。
- ⑪ IR 受信部 : リモコンの受信部です。

### 2-2 リアパネル



- ① DC 12V in : 付属の AC アダプターを接続します。
- ② LAN : 映像信号の入出力ポートになります。LAN ケーブルを接続し、送信器からの映像信号を入力、または受信器へ映像信号を出力します。

- ③ HDMI OUTPUT : 送信器から伝送された映像を HDMI 出力します。
- ④ IR in : 付属のリモコン受信用ケーブルを接続します。ソース機器をコントロールするためのリモコン信号を入力し、送信器に伝送します。
- ⑤ RS232 I/O : 入力した RS232 コマンドを送信器へ送ります。または送信器から送られた RS232 コマンドを出力します。
- ⑥ IR Ext. : 付属のリモコン受信用ケーブルを接続します。リモコン受信部を外部に延長します。
- ⑦ FW Update : フームウェア・アップデート時に RS232 F/W アップデートケーブルを接続します。

### 3 簡単な使い方

SB-6802R は『IP 伝送 中継機能付 HDMI 受信器』です。送信器 (SB-6800T) が IP 変換して伝送した HDMI 映像信号を受信して HDMI で出力し、同時に他の受信器 (SB-6802R, SB-6800R) へ LAN で中継します。また 2 台の送信器を接続して送信器からの映像を切り替えて表示することもできます。

※SB-6802R を使用するには、別途、送信器 (SB-6800T) が必要です。

※本書で送信器と表記がある場合は SB-6800T を、本機と表記がある場合は SB-6802R を、受信器と表記がある場合は SB-6802R、及び SB-6800R を指すものとします。

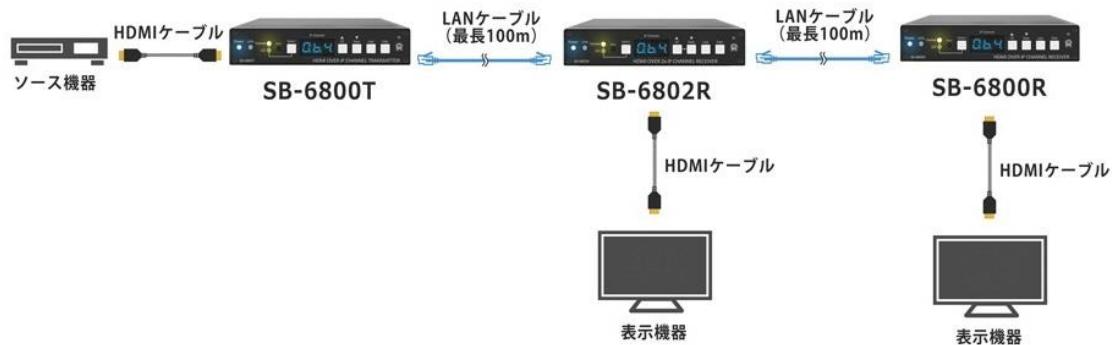
※SB-6800T、SB-6800R は別売です。

#### 3 - 1 接続手順

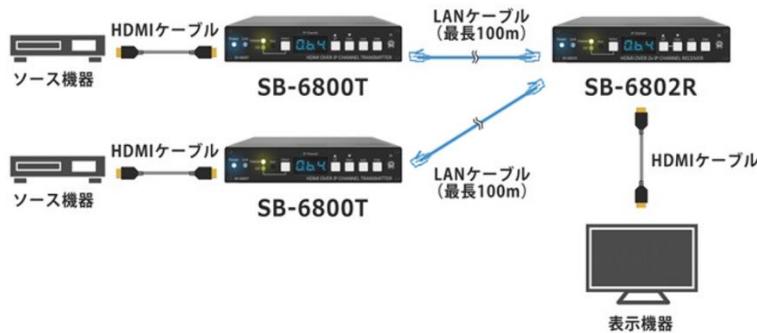
1. 接続する全ての機器の電源をオフにします。
2. ソース機器 ⇄ 送信器、表示機器 ⇄ 受信器を HDMI ケーブルで接続します。
3. 送信器と受信器を LAN ケーブルで直接接続、またはネットワーク Hub を介して接続します。(ネットワーク Hub はギガビット・イーサネット対応機器を推奨) 本機を中継器として使用する場合は本機と送信器、本機と受信器をそれぞれ LAN ケーブルで接続します。
4. 必要に応じて RS-232 ケーブル、リモコンケーブルを送信器、受信器に接続します。
5. 送信器、受信器の順に付属の AC アダプターを接続して電源をオンにします。
6. 表示機器、ソース機器の順に電源をオンにします。
7. 送信器、受信器のチャンネルを同じチャンネルに設定します。

### 3-2 接続例

(例 1) 本機を中継器として利用する場合



(例 2) 本機に 2 台の送信器を接続する場合



### 3-3 チャンネルの設定

送信器から伝送された映像を受信器で受け取るには、送信器と受信器を同じチャンネルに設定する必要があります。ネットワーク内に最大 5 台の送信器、64 台の受信器を同時に接続することができます。複数の送信器を同一のネットワークに接続する場合は、送信器に異なるチャンネルを設定する必要があります。

### 3-4 チャンネルの設定手順

1. 送信器のチャンネルを設定します。送信器の Channel LED が点灯していることを確認します。Channel LED が消灯し、RS232 LED が点灯している場合は、Select ボタンを押してチャンネル設定モードに切り替えます。UP ボタン、Down ボタンを押してチャンネル (000~063) を選択し、Enter ボタンで決定します。
2. 受信器のチャンネルを設定します。受信器の Channel LED が点灯していることを確認します。Channel LED が消灯している場合は Select ボタンを押してチャンネル設定モードに切り替えます。UP ボタン、Down ボタンを押して、送信器に設定したチャンネルと同じチャンネルを選択し、Enter ボタンで決定します。送信器と受信器が通信を行い、送信器に入力したソース機器からの映像が受信器に伝送され、表示機器に表示されます。

## 4 リモコン

本機はリモコンでも操作することができます。リモコンの各ボタンの役割は下記の通りです。



名称	機能
ON	本機の電源をオンにします。
OFF	本機の電源をオフにします。
Reset	本機では使用しません。
Lock	3秒間の長押しでボタン操作をロック/解除します。
CH +	チャンネルを変更する際に使用します。押すと数値が増えます。
CH -	チャンネルを変更する際に使用します。押すと数値が減ります。
L	ボーレートの値を変更する際に使用します。押すと数値が減ります。
R	ボーレートの値を変更する際に使用します。押すと数値が増えます。
ENTER	チャンネル、ボーレートを決定します。

## 5 高度な使い方・専用アプリケーションによる設定

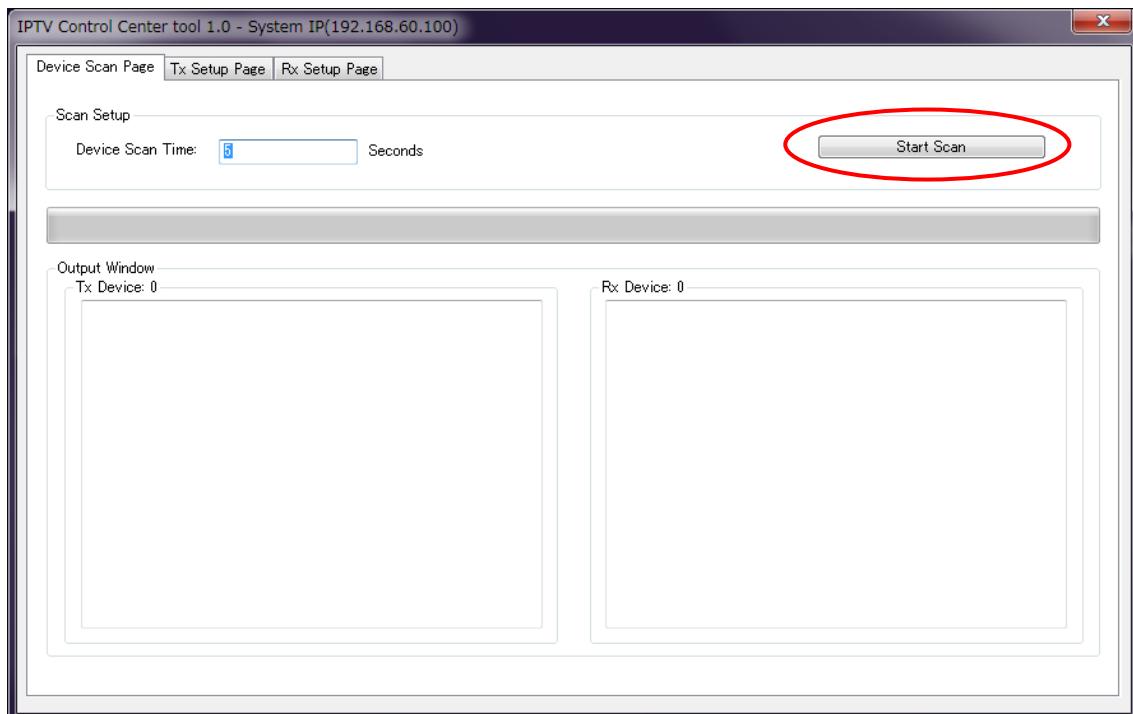
本機はフロントパネルにある操作ボタンだけで簡単に使用することができますが、専用アプリケーション、またはネットワーク接続したコンピューター（以下、パソコン）のブラウザーを使用することで、より高度な設定をすることができます。本項では専用アプリケーションによる設定について説明します。

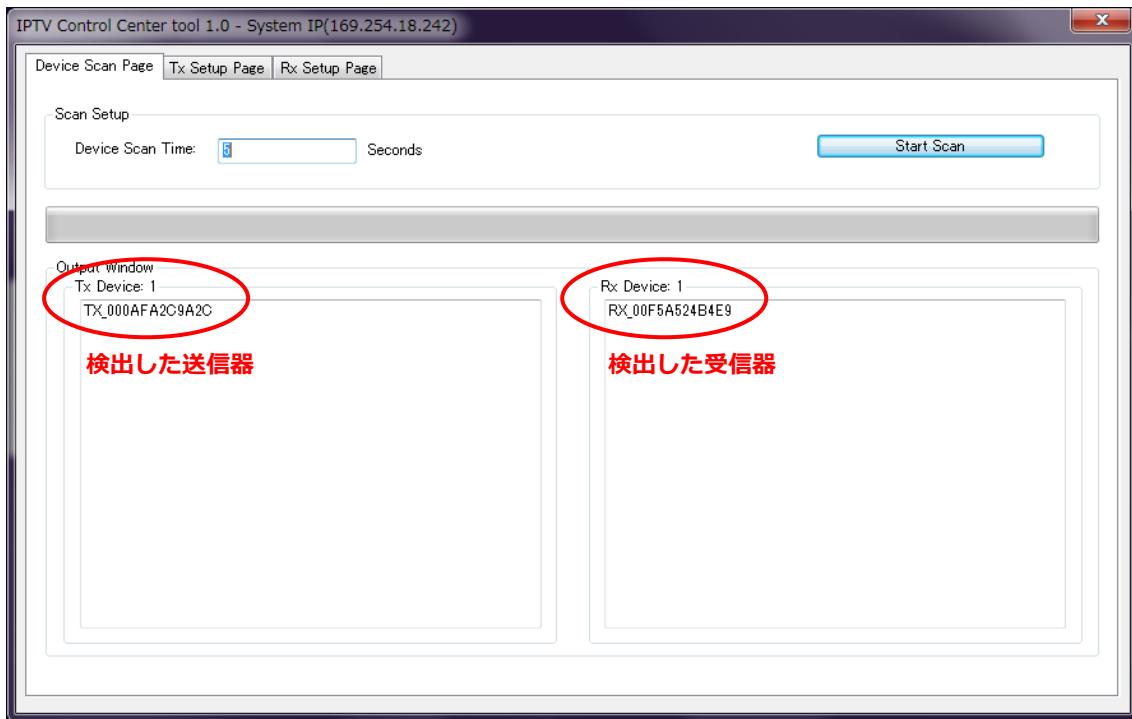
### 5-1 設定用パソコンの準備

- 専用アプリケーション“IPTV Control Center”を下記よりダウンロードします。  
[https://jmgs.jp/support/downloads/driver\\_manual/shinybow\\_series\\_driver.html](https://jmgs.jp/support/downloads/driver_manual/shinybow_series_driver.html)  
 IPTV\_Control\_Center.exe をデスクトップなどにコピーします。
- 送信器、受信器、及びパソコンを（ネットワーク Hub を介して）LAN ケーブルで接続します。
- 送信器、受信器に AC アダプターを接続して電源を入れます。
- パソコンのネットワーク設定を“IP アドレスを自動的に取得する”に設定しておきます。

### 5-2 送信器、受信器の検索

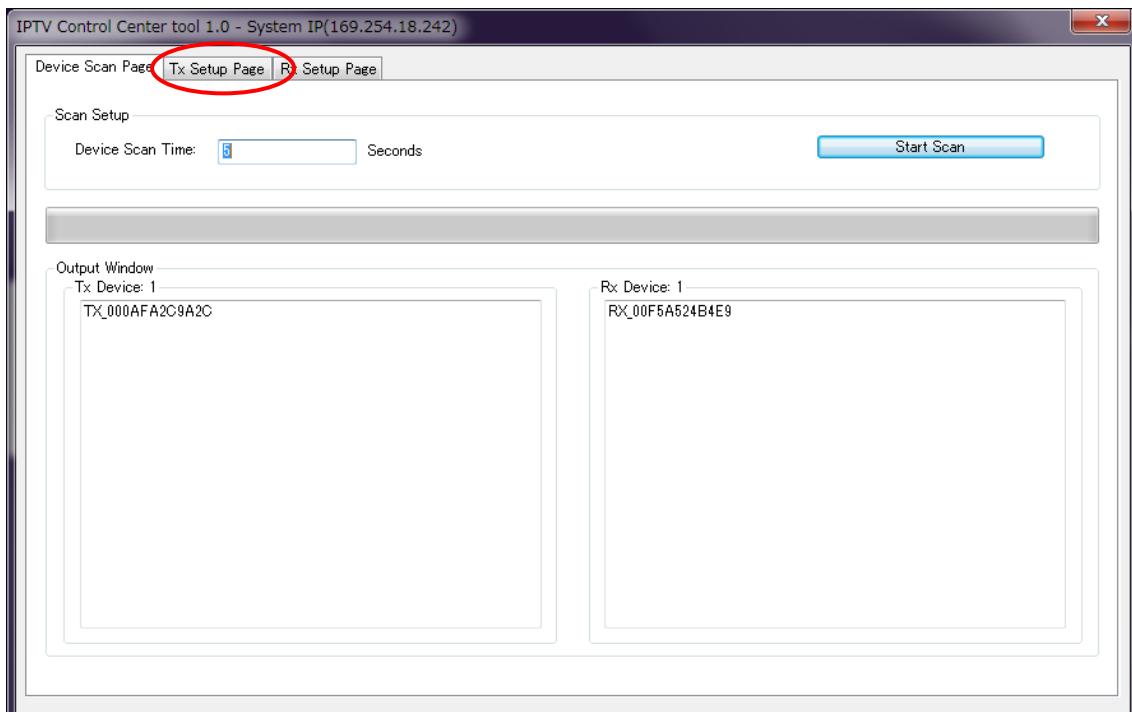
- IPTV\_Control\_Center.exe をダブルクリックしてアプリケーションを起動します。
- アプリケーションが起動したら“Start Scan”をクリックしてネットワーク内の送信器、受信器を検索します。複数の送信器、受信器が接続されている場合は、全ての送信器、受信器が検出されます。



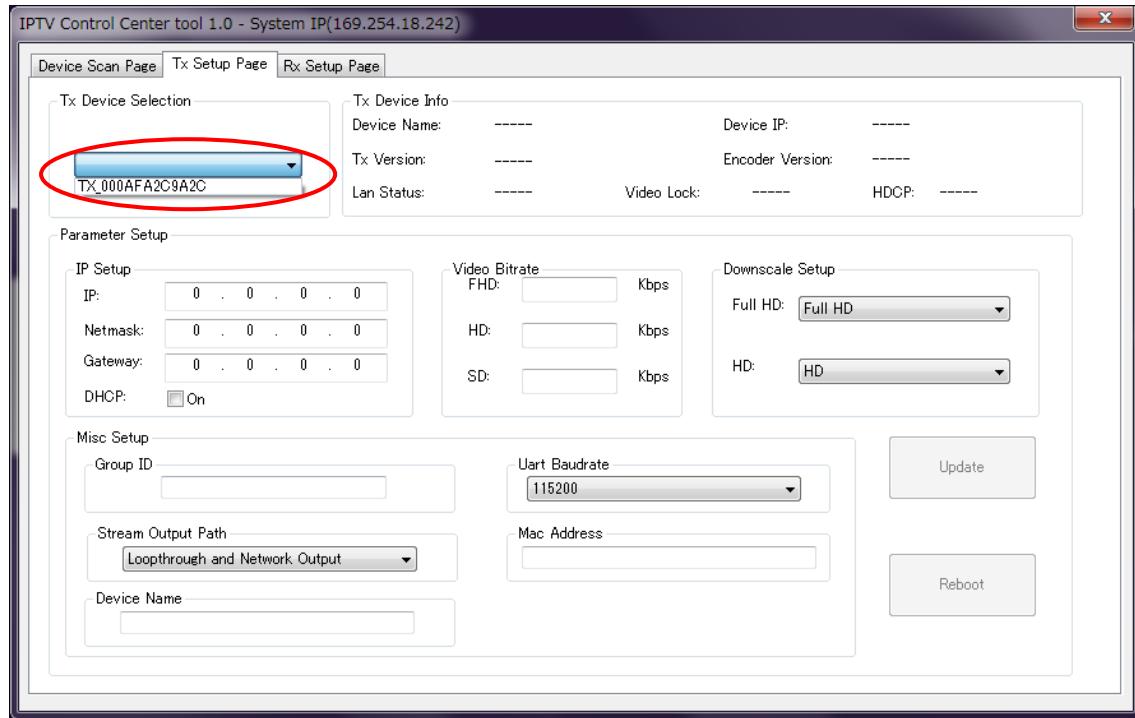


### 5 - 3 送信器の設定

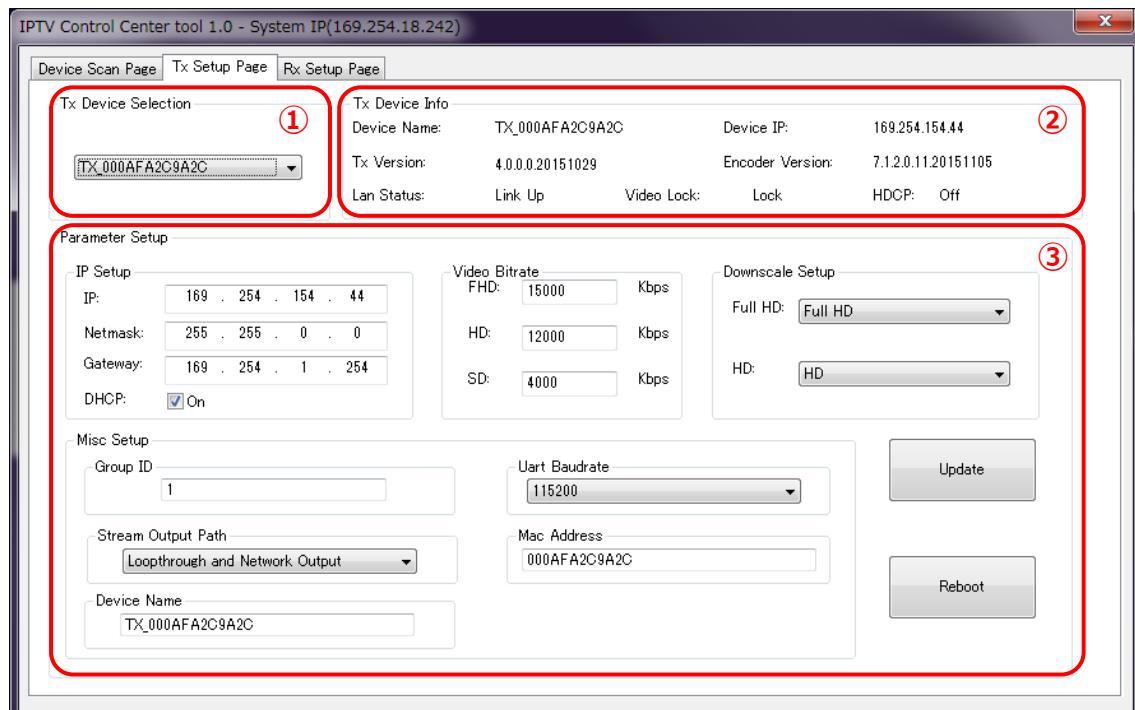
1. 送信器の設定画面を開きます。検索が終了したら“Tx Setup Page”タブを開きます。



2. 検出した送信器の名前 (Device Name) を選択します。



3. 送信器の初期設定値が表示されます。IP アドレス、受信器へ伝送する映像の品質などを変更することができます。



**①Tx Device Selection (送信器の選択) :** プルダウンリストから設定する送信器を選択します。



**②Tx Device Info (送信器の情報) :** 選択した送信器の現在の設定が表示されます。

Tx Device Info			
Device Name:	TX_000AFA2C9A2C	Device IP:	169.254.154.44
Tx Version:	4.0.0.0.20151029	Encoder Version:	7.1.2.0.11.20151105
Lan Status:	Link Up	Video Lock:	Lock
			HDCP: Off

**③Parameter Setup (パラメーターの設定)**

- **IP Setup (IP アドレスの設定) :** 送信器の IP アドレスを変更することができます。

IP Setup	
IP:	169 . 254 . 154 . 44
Netmask:	255 . 255 . 0 . 0
Gateway:	169 . 254 . 1 . 254
DHCP:	<input checked="" type="checkbox"/> On

IP (IP アドレス)、Netmask (サブネットマスク)、Gateway (デフォルトゲートウェイ) を任意の値に書き換えた後、Update ボタンをクリックして設定情報を送信器に転送します。DHCP を使用する場合は “On”にチェックを入れます。新しい IP アドレスを設定した後は、Reboot ボタンをクリックして送信器を再起動させる必要があります。また受信器も使用する場合は、続けて受信器の IP アドレスも変更します。受信器も IP アドレスの変更後は再起動が必要です。送信器、受信器の IP アドレスの変更後、IPTV Control Center のアプリケーションを閉じ、パソコンの IP アドレスを送信器、受信器の IP アドレスに合わせて変更します。パソコンが新しい IP アドレスでネットワークへの接続に成功した後に IPTV Control Center を起動させます。

- **Video Bitrate (ビットレートの設定)**

送信器は HDMI 入力した映像をエンコードして受信器に伝送します。エンコード時のビットレートは、FHD (フル HD)、HD、SD の解像度についてそれぞれ設定することができます。数値を書き換え、Update をクリックすると設定が反映されます。ビットレートの最大値は 15000 (Kbps=15Mbps) です。ビットレートの値を高くするほど高画質になりますが、ネットワークの帯域を使用します。エンコード時の解像度 (FHD、HD、または SD) は次の Downscale Setup で設定します。

Video Bitrate

FHD:	<input type="text" value="15000"/>	Kbps
HD:	<input type="text" value="12000"/>	Kbps
SD:	<input type="text" value="4000"/>	Kbps

#### ・Downscale Setup (ダウンスケーリングの設定)

送信器に入力した映像をエンコードする際の解像度を選択します。映像ソースがフル HD の場合は Full HD、HD、SD から、HD の場合は HD、SD から選択します。Update をクリックすると設定が反映されます。HD の映像ソースをフル HD にアップスケーリングすることはできません。

Downscale Setup

Full HD:	<input type="text" value="Full HD"/>
HD:	<input type="text" value="HD"/>

#### ・Misc Setup (その他の設定)

##### - Group ID (チャンネルの設定) : チャンネルを設定します。

0~63 の数値を入力して Update ボタンをクリックすると設定を変更します。

Group ID

<input type="text" value="1"/>
--------------------------------

##### - Stream Output Path (映像出力の設定) : 映像出力の設定を以下から選択します。

**Loopthrough and Network Output** : ループアウトと受信器への出力を行います。(初期設定)

**Disable Network Output** : 受信器への出力を停止します。

**Disable Loopthrough Output** : ループアウトを停止します。

**Disable All Video Output** : 全ての出力を停止します。

##### - Device Name (送信器の名前の設定)

送信器を識別するための名前 (Device Name) を変更することができます。初期設定では“TX\_ (Mac アドレス)”が設定されています。英数字で新しい名前を入力した後、Update ボタンをクリックすると設定が反映されます。

Device Name

<input type="text" value="TX_000AFA2C9A2C"/>
--

**- Uart Baudrate (ポーレートの設定) :** RS-232 通信のポーレートを選択します。

数値を選択後、Update ボタンをクリックすると設定が反映されます。ポーレートは 115200、57600、38400、28800、19200、9600、4800、2400 から選択します。



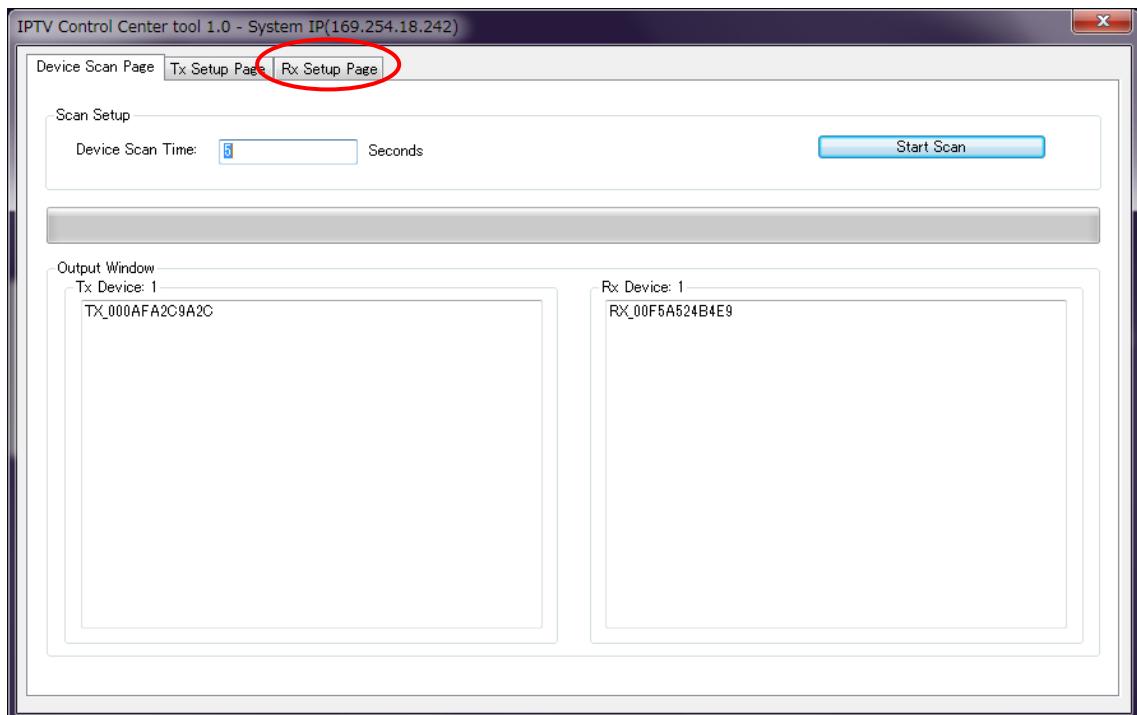
**- Mac Address (Mac アドレス) :** Mac アドレスを変更することができます。

通常は変更する必要がありません。ネットワーク内に重複した Mac アドレスが存在すると正常な通信ができないくなるため注意が必要です。

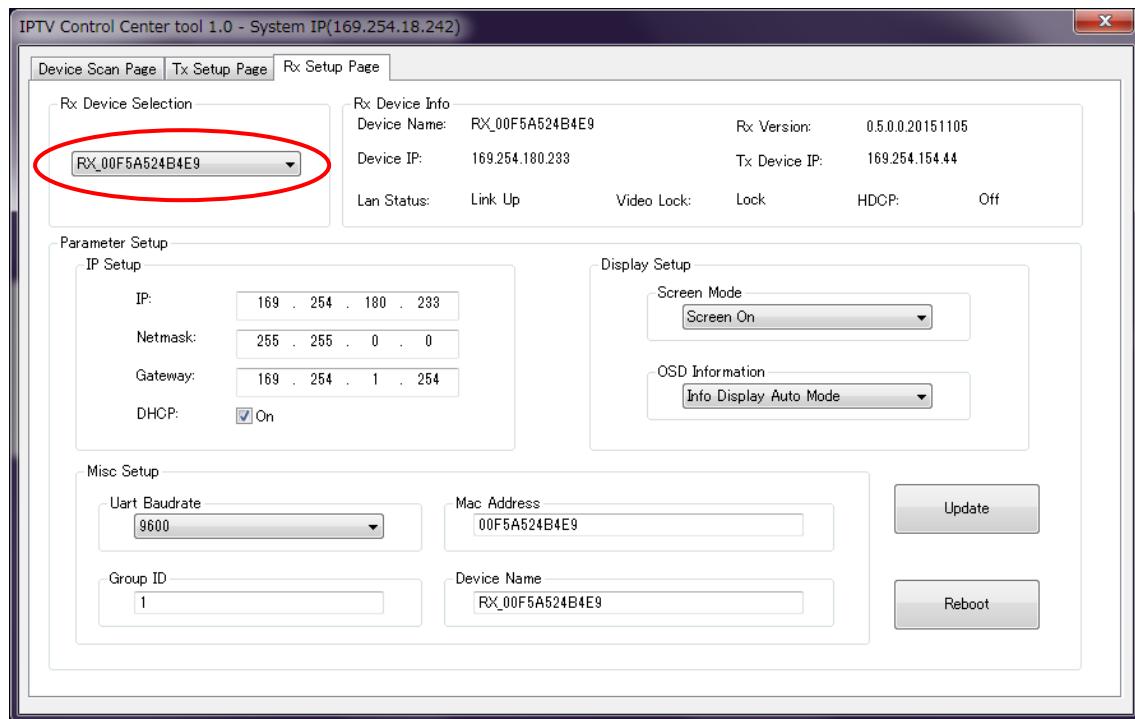


## 5 - 4 受信器の設定

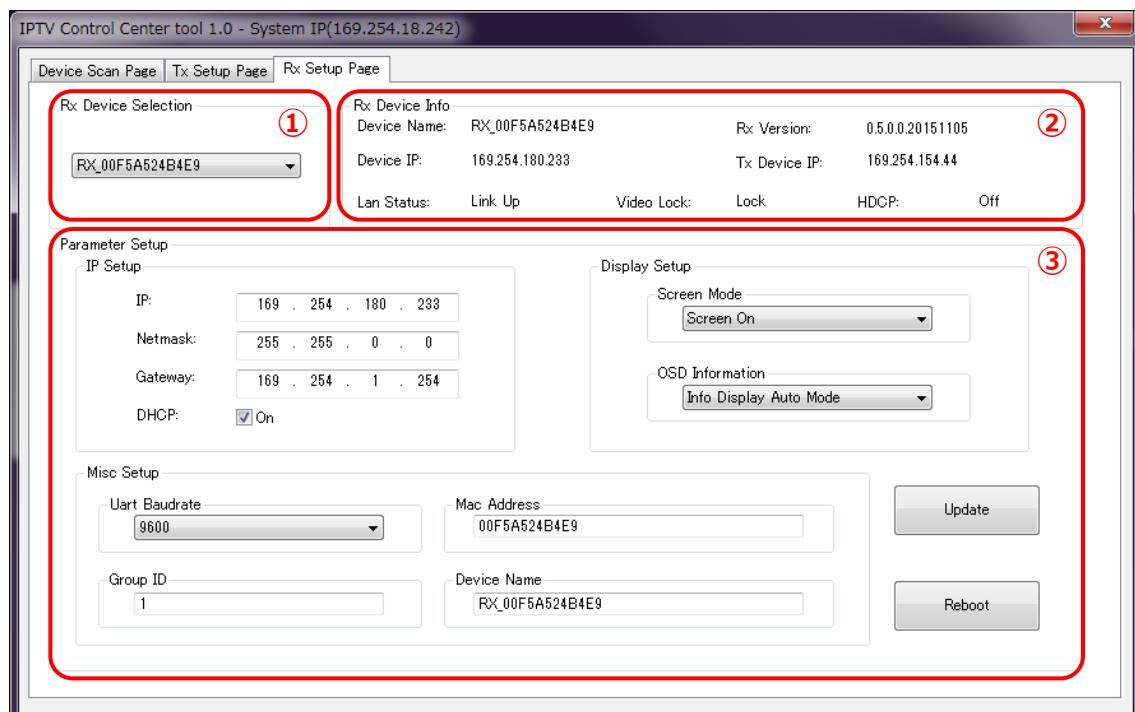
1. 受信器の設定画面を開きます。5-2 送信器、受信器の検索 を実行し受信器が検出されたら“Rx Setup Page”タブを開きます。



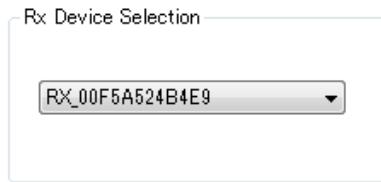
2. 検出した受信器の名前を選択します。



3. 受信器の初期設定値が表示されます。IP アドレスなどを変更することができます。



**①Rx Device Selection (受信器の選択) :** プルダウンから設定を変更する受信器を選択します。



**②Rx Device Info (受信器の情報) :** 受信器の現在の設定が表示されます。

Rx Device Info		Rx Version:	
Device Name:	RX_00F5A524B4E9		0.5.0.0.20151105
Device IP:	169.254.180.233	Tx Device IP:	169.254.154.44
Lan Status:	Link Up	Video Lock:	Lock
		HDCP:	Off

**③Parameter Setup (パラメーターの設定)**

・ **IP Setup (IP アドレスの設定) :** 受信器の IP アドレスを変更することができます。

IP:	169 . 254 . 180 . 233
Netmask:	255 . 255 . 0 . 0
Gateway:	169 . 254 . 1 . 254
DHCP:	<input checked="" type="checkbox"/> On

IP (IP アドレス)、Netmask (サブネットマスク)、Gateway (デフォルトゲートウェイ) を変更することができます。任意の値を入力後、Update ボタンをクリックして設定を受信器に転送します。DHCP を使用する場合は"On"にチェックを入れます。IP アドレスを設定した後は、Reboot ボタンをクリックして必ず受信器を再起動させる必要があります。送信器、受信器の IP アドレスの変更後、IPTV Control Center のアプリケーションを閉じ、パソコンの IP アドレスを送信器、受信器の IP アドレスに合わせて変更した後に IPTV Control Center を起動させます。

・ **Display Setup (表示に関する設定)**

- **Screen Mode (映像出力の設定) :** 受信器の映像出力のオンオフを設定します。

**Screen On :** 受信器の映像出力を有効にします。(初期設定)

**Screen Off :** 受信器からの映像出力を停止します。

- **OSD Information (OSD 表示の設定)** : OSD (On Screen Display) の表示方法を設定します。

**Info Display Auto Mode** : 自動表示設定です。受信器が送信器を検索している際などに OSD が自動的に表示されます。(初期設定)

**Info Display On Mode** : OSD を常に表示します。

**Info Display Off Mode** : OSD を表示しません。

#### <OSD の表示内容>

F/W version:	0.5.0.0.20151105
RX IP address:	169.254.180.233
TX IP address:	0.0.0.0
Group ID:	CH1
Device ID:	IPTV
Status:	Waiting for connection...

**F/W version** : ファームウェアのバージョンを表示します。

**RX IP address** : IP アドレスを表示します。

**TX IP address** : 接続中の送信器の IP アドレスを表示します。ネットワーク内に同じチャンネルの送信器が見つからない場合は 0.0.0.0 と表示されます。

**Group ID** : 設定されているチャンネルを表示します。

**Device ID** : デバイスの種類を表示します。IPTV は受信器であることを表しています。

**Status** : 受信器の状態を表示します。送信器を検索中は Waiting for connection... と表示され、送信器との接続に成功すると Connected と表示が変わります。

#### • Misc Setup (その他の設定)

- **Uart Baudrate (ボーレートの設定)** : RS-232 通信のボーレートを選択します。

選択後、Update ボタンをクリックすると設定が反映されます。

Uart Baudrate

115200

- **Group ID (チャンネルの設定)** : チャンネルを設定します。

0~63 の数値を入力して、Update ボタンをクリックすると設定を変更します。

Group ID

1

- **Mac Address (Mac アドレス)** : Mac アドレスを変更することができます。

通常は変更する必要がありません。ネットワーク内に重複した Mac アドレスが存在すると正常な通信ができないため注意が必要です。

Mac Address  
000AFA2C9A2C

- **Device Name (受信器の名前の設定)** : 受信器を識別する名前 (Device Name) を変更します。

初期設定では“RX\_ (Mac アドレス) ”が設定されています。英数字で新しい名前を入力した後、Update ボタンをクリックすると設定が反映されます。

Device Name  
RX\_00F5A524B4E9

## 6 高度な使い方・ブラウザによる設定

送信器、受信器とネットワーク接続したパソコンのブラウザでも高度な設定を行うことができます。

### 6-1 送信器の設定

- はじめに送信器の IP アドレスを確認します。専用アプリケーション (IPTV Control Center) を使用して IP アドレスを確認 (5 高度な使い方・専用アプリケーションによる設定 を参照) します。受信器を接続している場合は、受信器のチャンネルを送信器とは異なるチャンネルに設定し、そのまま待つ (約 7 秒) と OSD が表示され、IP アドレスを確認することができます。
- 送信器と同一セグメントの IP アドレスを設定したパソコンを LAN ケーブルで送信器に接続します。パソコンのブラウザを起動して URL 入力欄に送信器の IP アドレス ((例) 169.254.xxx.xxx) を入力して Enter キーを押します。
- 送信器への接続が成功するとブラウザに次のような画面が表示されるので、UserName、PassWord を入力し、Login ボタンをクリックして IPTV Server (送信器) にログインします。

**IPTV Server**

UserName:

PassWord:

**UserName : admin      PassWord : 123456**

UserName、PassWord は初期値です。後で変更することができます。IPTV Server (送信器) にログインすることで、送信器に関する様々な高度な設定を行うことができます。

## 6 - 2 送信器の設定項目

**Video Setting** : 送信器から出力する際の画質に関する設定です。

Video Input:

Resolution:  Frame Rate:  (fps)

Video Output Resolution:

FHD =>

HD =>

Video Output Bit Rate:

FHD:  (Unit 1Kbps)

HD :  (Unit 1Kbps)

SD :  (Unit 1Kbps)

**Video Output Resolution** : 送信器に入力した映像をエンコードする際の解像度を選択します。映像ソースが FHD (フル HD) の場合は FHD、HD、SD から選択、HD の場合は HD、SD から選択します。

**Video Output Bit Rate** : 送信器に入力した映像をエンコードする際のビットレートを変更できます。ビットレートの最大値は 15000 (kbps) = 15Mbps になります。

※設定は Submit ボタンをクリックすることで反映されます。

**Streaming Setting** : 伝送 (ストリーミング) に関する設定です。

Transfer:  Multicast

Multicast IP:  Port: 5004

**Transfer** : マルチキャストで伝送する場合にチェックを入れます。

**Multicast IP** : マルチキャストで伝送する際のアドレスを選択します。

※設定は Submit ボタンをクリックすることで反映されます。

**Change admin's Password** : 送信器にログインする際のパスワードを変更します。

Olduser Password:

Newuser Password:

Confirm Password:

**Olduser Password** : 変更前のパスワードを入力します。

**Newuser Password** : 新しく設定するパスワードを入力します。

**Confirm Password** : 確認のためにもう一度新しいパスワードを入力します。

※設定は Submit ボタンをクリックすることで反映されます。

#### File to Upgrade Firmware : 送信器のファームウェアをアップデートする際に使用します。

<b>File to Upgrade Firmware:</b>		
<input type="button" value="ファイルを選択"/>	選択されていません	<input type="button" value="Upgrade!"/>

#### Ethernet : 任意の IP アドレスを設定することができます。

<input checked="" type="checkbox"/> Use DHCP
Default IP address: 169 . 254 . 100 . 189
Default Netmask: 255 . 255 . 0 . 0
Default Gateway: 169 . 254 . 1 . 254
<input type="button" value="Submit"/>

**Use DHCP** : DHCP を使用する場合はチェックを入れます。

**Default IP address** : 任意の IP アドレスを入力します。

**Default Netmask** : サブネットマスクを入力します。

**Default Gateway** : デフォルトゲートウェイを入力します。

※設定は Submit ボタンをクリックすることで反映されます。

※IP アドレスを設定した後は、Reboot ボタンをクリックして送信器を再起動させる必要があります。

#### Uart Setting : RS-232 の通信設定です。

Baud Rate: 9600 ▼
<input type="button" value="Submit"/>

**Baud Rate** : RS232 通信の際のボーレートを選択します。ボーレートは 115200、57600、38400、

28800、19200、9600、4800、2400 から選択します。

#### File to Upgrade Encoder Firmware :

送信器のエンコーダーのファームウェアをアップデートする際に使用します。

<b>File to Upgrade Encoder Firmware:</b>		
<input type="button" value="ファイルを選択"/>	選択されていません	<input type="button" value="Upgrade!"/>

#### その他

<input type="button" value="Encoder Reset"/>	<input type="button" value="Reboot"/>	<input type="button" value="LogOut"/>
--	---------------------------------------	---------------------------------------

**Encoder Reset** : 送信器の設定をリセットします。

**Reboot** : 送信器を再起動させます。

**LogOut** : 送信器の設定画面からログアウトします。

## 6 - 3 受信器の設定

1. 受信器の IP アドレスを確認します。専用アプリケーション (IPTV Control Center) で IP アドレスを確認 (5 高度な使い方・専用アプリケーションによる設定 を参照) します。または操作ボタンを使用して受信器のチャンネルを送信器とは異なるチャンネルに設定し、そのまま待つ (約 7 秒) と OSD が表示され、IP アドレスを確認することができます。
2. 受信器と同一セグメントの IP アドレスを設定したパソコンを LAN ケーブルで受信器に接続し、ブラウザを起動して URL 入力欄に受信器の IP アドレス ((例) 169.254.xxx.xxx) を入力し Enter キーを押します。
3. 受信器への接続が成功するとブラウザに Multicast 設定画面 (受信器設定画面) が表示されます。

## 6 - 4 受信器の設定項目

**File to Upgrade Firmware :** フームウェアのアップデートが必要な際に使用します。

**Use DHCP :** IP を固定する場合はチェックを外します。

**Default IP address :** 任意の IP アドレスを入力します。

**Default Netmask :** サブネットマスクを入力します。

**Default Gateway :** デフォルトゲートウェイを入力します。

※Update DHCP ボタンをクリックすると設定が反映されます。

※IP アドレスを設定した後は、Reboot ボタンをクリックして送信器を再起動させる必要があります。

**Multicast Group :** 送信器の設定に合わせて選択し、“Update”ボタンをクリックして反映します。

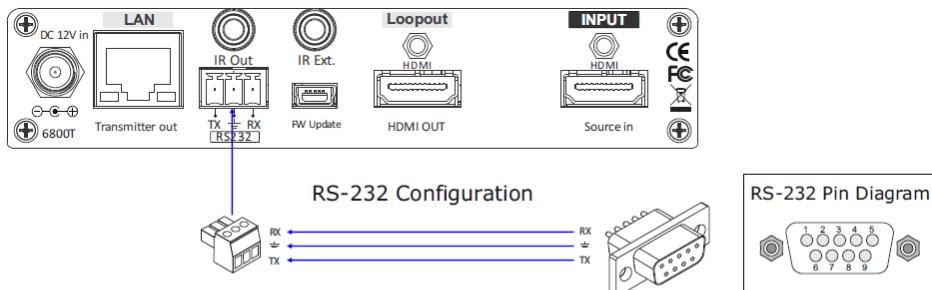
**Uart Baud Rate :** RS232 通信のボーレートを設定します。“Update”ボタンをクリックすると設定が反映されます。

**Reboot :** 受信器を再起動させます。

## 7 シリアル機器の接続

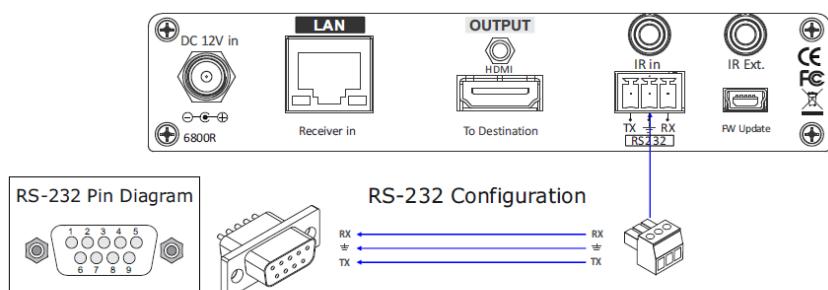
送信器、受信器にシリアル機器を接続してシリアルコマンドの送受信を行うことができます。送信器と受信器の RS232 IO に付属の RS232 IO コネクターを接続してピンアサインに合わせて結線します。

### 7-1 送信器の RS232 ピンアサイン



Definition	PIN	Definition
TX	1	DCD
	2	RX
RX	3	TX
	4	DTR
GND	5	GND
	6	DSR
	7	RTS
	8	CTS
	9	RI

### 7-2 受信器の RS232 ピンアサイン



Definition	PIN	PIN	Definition
TX	1	1	DCD
	2	2	RX
RX	3	3	TX
	4	4	DTR
GND	5	5	GND
	6	6	DSR
	7	7	RTS
	8	8	CTS
	9	9	RI

### 7-3 RS232 通信の設定

RS232 コマンドの送受信を行うためには下記のいずれかの方法でボーレートの設定が必要です。

1. 送信器、受信器のフロントパネルのボタン操作で設定します。Select ボタンを押してボーレート設定モードに切り替えます。UP ボタン、Down ボタンを押すと LCD の表示が 115(115200)、576(57600)、384 (38400)、288 (28800)、192 (19200)、96 (9600)、48 (4800)、24 (2400) の順に変わり、Enter ボタンを押すと設定が決定されます。
2. 専用アプリケーション“IPTV Control Center”を使用して設定します。（**5 高度な使い方・専用アプリケーションによる設定** を参照）
3. ネットワーク接続したパソコンのブラウザーで送信器、受信器に接続して設定します。（**6 高度な使い方・ブラウザーによる設定** を参照）

## 8 製品仕様

型番	SB-6802R
種類	中継器・受信器
延長信号	HDMI、RS-232C、IR
伝送方式	TCP/IP
エンコード方式	H.264
入力端子	リモコン用ジャック x1 電源ジャック x 1
出力端子	HDMI タイプ A メス x 1 リモコン用ジャック x1
入出力端子	RJ45x 2 (1 入力 1 出力、2 入力、または 1 入力) RS-232 IO x1 FW アップデート用 USB 端子 x1
HDMI 規格	HDMI1.4 準拠
HDCP コンテンツ	再生可 (HDCP2.2 は不可)
CEC	非対応
同一ネットワーク内 最大接続台数	64
伝送距離	最長 100m (送信器 ⇄ 受信器, 送信器 ⇄ Hub, 受信器 ⇄ Hub, Hub ⇄ Hub 間) 最長 500m (多段接続時)
対応 LAN ケーブル	CAT6A (推奨) CAT5e/CAT6/CAT7
IR 帯域幅	38KHz
動作環境温度/保管環境温度	0~38°C/-20~60°C
動作環境湿度/保管環境湿度	10~80% (結露なきこと)
対応解像度	480p、720p、1080i、1080p
送受信間 信号遅延	1 秒以下
電源	DC12V、3A
最大消費電力	4W
認証	CE、FCC、REACH
外形寸法	幅 130mm × 高さ 21mm × 奥行き 131mm (突起物含まず)
重量	484g